



八幡平DMO 発行人:文責 鳥海良信

## 八幡平の秋 2020

### 山賊まつりの開催!

八幡平の秋の風物詩 と言えは、山賊まつり。 今年はオリンピックの 関係で体育の日が7月 に移動した為2日間の 集中日程となりました。 またコロナ対策もあり、 例年通りとは、関係者ま さんでの努力で賑やかに 開催されました。



土曜は地元のみならず を中心に約5000人の 来場、日曜は観光 も含め更に大勢の来場 がありました。売上は 初日の勝ち!地元 パワーが印象的なスタ ートとなりました。



\*感染対策もバッチリ!

初日のプログラム は恒例の1日消防署 長の任命式でスタ ート、続いては松尾中 学校の吹奏部・柏台 保育園のみならず、 柏台小学校の八幡平 太鼓、そしてヒップ ホップキッズの皆さ んと、晴れやかなス テージが続きました。 今年度は、コロナ



\*テイクアウトコーナーの為 アスビーテ前に特設会場設置

### 今年度3回目の開催

10月14日八幡平市役 所に於いて観光協議会 が開催されました。 活動が始まって半年 が経過、議事には活動 報告も加わり、以下の 内容となりました。

- (1)国際競争力の高い スノーリゾート形成
- (2)誘客多角化の為の 魅力的コンテンツ造成
- (3)次期観光振興計画の 策定に向けた活動開始
- (4)コロナ対策について
- \*ワーケーション部会
- \*八幡平温泉郷

中心となりましたが、 来年度以降は11月に部 会を設置し、戦報共有 をしながら、戦略的に投 資・修繕計画を進めら れる様に展開して行く 旨報告されました。

### 第3回観光協議会が開催されました!

左右するシーズン始め の稼働を安定させる降 雪機の増設など。地球 温暖化への対応は、持 続可能なスノーリゾ ートにとって重要です。 マとさせていただきます。

### 具体的には、海外からのゲストの増大を踏まえ、レンタル・スクールの受付やリフト券の販売の集中を緩和するシステムの導入や、その年の入込みを大きく

### (1)スノーリゾート形成

・本年度申請記載事項 と進捗について  
2020年度は先駆的に動いていた「安比 高原スキー場」の外国 人受入環境整備事業が

### (2)誘客多角化の探採結果

八幡平からは8件の エントリーでした。想定 を超える大激戦となり、採採は2件のみ 加えて結果発表が1ヶ 月も遅れ、その2件も 一部計画を変更して進 めて行くことになると 報告されました。

### (3)次期観光振興計画

2022年度からの5ヶ 年計画となります。例 年では実質半年前からの 策定でした。たまたまの タイミングでは、初年度 は予算がないままのスタ ートになります。

### (4)コロナの影響と対策

観光協会さん・商工 会さんからの報告は裏 面を参照下さい。

### ワーケーション部会

今月行われる2つの モニターツアーの概要

### 八幡平温泉郷の賑わいづくり部の設置

温泉郷エリアの今後 を姿を考える、有志の 集りからスタート

### フリーランス組 モニターツアー開催

\*新型コロナウイルス 感染症に伴い一気に注 目を集めたリモーター機 嫌な環境で楽しい休日 と共に...と言ったのが ワーケーションです。 そつなると八幡平は、 ペストな環境でしょ! と云つて、今年度は 2本のモニターツアー を開催します。



4泊5日の3日目...裏岩手縦走は雪!

- (1) 中のまきは朝食
- (2) フナ二次林の散策
- (3) 馬との共生による草原
- (4) 安比塗里・漆器の歴史
- (5) 塩の温泉
- (6) 味噌屋さん豆腐屋さん
- (7) 山と自然の話

### サイクリングに注目

誘客多角化の第一次 の採採をみると、展開 エリアが開放的であり、 自然にソーシャルディ スタンスが3密の対極 にあり、この事業も大 変注目されています。 この企画は、通年で 八幡平の自然を商品化 している「クラブマン マウンテンガイド」を 中心として展開されて 行きます!

### 実施概要は:

- (1) 八幡平の景観と食材探 しのサイクリングで楽 しむモニターツアー
- (2) FATHER KEで巡 る冬のサイクリングの モニターツアー
- (3) 宿泊&体験OTAでの サイクル商品の造成
- (4) 次世代のガイド育成
- (5) コロナ対策を盛込んだ 多言語サイクルリスマの PRムービーの制作

### 新規性・独自性

\*この取組みでは、サイ クリングを自由な三 次交通と捉え、国立公 園八幡平の自然景観と、 豊かな食材を活かし、 生産者さん達の魅力的 な人柄に触れる機会を 構築することで、「地 域の人々の顔が見える」 コンテンツ造成を 目指しています。

### 新規性・独自性

百名水「金沢清水」 が育む八幡平サーモン や杜仲茶ボーク、地熱 を活用した八幡平マッ シュルーム、IoTパ ジルなどの地元食材と のコラボレーションで、 独自の香り:地域の 匂いが香る新しい体験 プログラムを構築して 行きます。

### 誘客多角の魅力的な滞在「コンテンツ造成事業」(2) 少人数で楽しむ「とびっきりの八幡平」制作委員会

八幡平の宝物は、一 趣の異なる二つの 百名山と国立公園」は 我々みんなが誇れる宝 物です。

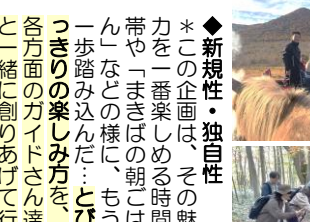
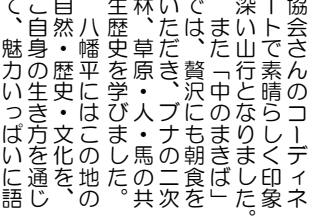
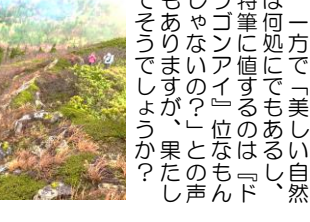
一方で、「美しい自然 は何処にもあるし、 特筆に値するものは、 『ドラゴンアイ』位なもん じゃないの?」との声 もありますが、果たし てそうでしょうか?

◆ゲストと自然を繋ぐ: 前出のモニターツアー 走とは、雪舞う裏岩手 縦走となりましたが、 岩手八幡平山岳ガイド 協会さんのコーディネートで素晴らしい印象 深い山行となりました。 また「中のまきは」 では、賢沢にも朝食を いただき、フナの二次 林、草原・人・馬の共 生歴史を学びました。 八幡平にはこの地の 自然・歴史・文化を、 ご自身の生き方を通じ て、魅力いっぱいに語 って下さるガイドさん がたくさんいらっしゃ います。この方々自身 とそのノウハウこそが 八幡平の宝物の一つと 実感しました。

### 新規性・独自性

\*この企画は、その魅 力を一番楽しめる時間 帯や「まきはの朝こは ん」などの様に、もう 一歩踏み込んだ「とび っきりの楽しみ方」を、 各方面のガイドさん達 と一緒に創りあげて行 くプロジェクトです。

### 第1期は、各季節× 6つ/24の商品に仕上 げ、インターネットを 通じてゲストの手元へ 届けて行きます。





■2022〜26年度5ヶ年の観光振興計画  
 ■第1期の振興計画は、これ迄の振興計画は、初年度より事前準備、二年度より推進体制構築、三年度より実験的取組み、四年度より実践検証展開、五年度より企画継続実践となっており、予算3ヶ年計画になっていきます。

■第2期の課題  
 その時々のテーマに添ってまいります。一貫した継続性が弱く、観光が目指す姿が見え難いとの声があります。

■第3期の課題  
 推進する主体が良く判らず、どの組織が何を担っているのか判らない。

※ヒヤリングをスタート  
 第1期の課題を踏まえ、次計画は、現行から期間なく5ヶ年として機能出来るよう、ヒヤリングを開始しました。

また、第1・第3期の課題も踏まえ、協議を重ねて行きます。

■事業者さんが使え  
 観光振興計画を目指す観光事業者さんには、其の事業を展開させていく訳ですが、次第に者朽化も進み、修繕や更新のタイミングを迎えて来ています。

多くの場合は融資を受けての対応となり、市場環境・エリアの動向・関連事業の状況などの経営環境を問われる訳ですが、その時に指針となるのが観光振興計画だと思えます。

八幡平市の動きの中で、どの様に強みを出して行くのか？

観光事業者さん達が活用して行ける「観光振興計画を創る」いよいよスタートします。

■観光協議会の役割  
 10月14日の協議会の冒頭、田村市長から「観光は第一線でお客さまと対峙している協議会メンバーのみならず、観光協議会が創って行くもの」とのお話がありました。

観光協議会は、これから立ち上げる部会も含めて、現場の課題を纏め重点テーマを設定、更に課題解決の方向性やロードマップの策定を行うことで、事業者さん主体の計画となればと考えています。

**“観光地域づくり”**  
 Destination Marketing & Management  
**第4次観光振興計画に向けて**  
 その1 事業者による 事業者の為の 計画  
 5年後に在りたい姿を共に創る！

■本年度の計画と進捗  
 事業の性格上、初年度はスキー場を中心とした計画となっており、先日の観光協議会での報告概要です。

＊スキー場関係  
 (1)索道・降雪機関係  
 安比高原スキー場ではリフト原動機の人工工温暖化を踏まえ、降雪機の拡充が進められています。雪暖化への対策は甲信越では更に深刻で、従来の下部の補雪ではなく、山頂付近の積雪を確保して滑走可能日数をどう確保するかの次元へ移っています。

また、海外からのゲストの場合、受付も多く、精算も複雑で時間を要する為、IC化も必須の条件となり整備が進みました。

(2)グリーンシーズン誘客  
 夏季の「雲海コンドル」や「星空コンドル」は東北DOCのスペシャルコンテンツにもなっており、山頂エリアの充実やプランニングの設置も展開されています。

(3)グレンデMTB  
 アドベンチャーこちらはゴンドラを使って山頂へ登り、ゲレンデをマウンテンバイクで駆け下りて来るものです。

当初は中級者向けのダウンヒルコースがメインでしたが、初心者や初級者用のコースも含んだフットレイルに変更、スキー同様の上達毎にコースをラックアップする、欧米方式の上達型のアクティビティとし、市場の掘起こしを狙います。

「スノーリゾート形成」部会設立に向けて：  
 ※全国的な動きから：  
 計画には、エリアの基本的な受入環境整備や夏季・冬季それぞれの利便性の向上施策を謳っており、こちらは順次進めて行く方向です。

■第4次計画の準備を始めました。  
 今回は初年度の活動から予算を確保して推進できるように、これから1年かけて素案を策定するスケジュールで進めて行くことになりました。

商工観光課・観光協会・商工会とDMOの事務局で、ヒヤリングや各部会のサポートをさせていただきます。

「事業者さんが使え観光振興計画」が目標です！ご協力をよろしくお願いいたします。

- ① 観光専門職の雇用育成計画や競争力強化の投資計画が描きやすいように、部会を展開していきたいと考えています。
- ② 紅葉が落ち着く11月になりませんが、協会さん・商工会さん経由でお声がけいたしますので是非ご参加下さい。
- ③ 二次・三次交通の確保
- ④ 二次交通の企画乗車業
- ⑤ 外国人の受入環境整備
- ⑥ WE B環境多言語対応
- ⑦ 二次・三次交通の確保
- ⑧ 二次交通の企画乗車業
- ⑨ 二次交通の多様化

※商工会より：追加応援施策のお知らせ  
 ■GOTOイート  
 県のGOTOイート事業は25%の割り増しが付いたプレミアム付食事券を、11月1日から販売開始します。

1綴り5000円分の食事券を4000円で販売、登録参加店の申し込みは、10月15日までに受け付けが完了します。

食事券の愛称は「いわてまんぶくイトチケット」、一回に1人まで購入可能です。販売は来年1月末迄となり、利用は来年3月末迄の予定です。

発行総額は50億円で最大1000万セット、県内の商工会やSPA・商業施設・道の駅などで販売されます。

詳細はいわてのGOTOイートキャンペーン事務局、飲食店用  
 \*019-624-15050  
 \*019-624-15050  
 \*019-624-15020

※お問い合わせ願います。  
 また、地域共通クーポンを取扱う飲食店が登録証を地域共通クーポンのマイページからアップロードすることにより保留が解除されます。

■八幡平市クーポン  
 (正式な名称は八幡平市宿泊応援地域共通クーポン事業)

八幡平市商工会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光関連業者(宿泊・飲食・土産品・観光施設・タクシー・ガソリンスタンド事業者)を応援するため、東北地方から訪れた八幡平市内宿泊施設の宿泊者に対し1人2000円の地域共通クーポン券(独自発行)を発行して、地域で買い物・サービスを利用する仕組みを作り、地域の消費を喚起します。

\*クーポン券配付期間は、10月15日より2月28日までとし、市内66か所のホテル・旅館・ペンション・民宿の登録施設が配付します。

各施設毎、配布時期が異なりますので、事前にお問い合わせをから利用することをお勧めします。

\*クーポン券の取り扱い店は順次申し込みが出来ますが、市共通商品券の加盟店登録が必要であることから、市商工会の会員登録が条件となります。

・詳しくは、八幡平市商工会のホームページをご参照下さい。

■Go to Eat  
 いわてまんぶくイトチケット

■八幡平市クーポン

※観光協会より「地元への宿泊補助」のお知らせ  
 ■キャンペーンの状況  
 八幡平市の紅葉もGOTOキャンペーンに東京が加わったこともあり、大分賑わいを取り戻している様子です。

しかし、にわか作りの制度設計の為、組織的な動きや送客システムには絡まない個人の事業者さん達は、恩恵を受け難い現象が生じてしまっています。

■小規模宿泊施設への宿泊誘客補助支援  
 八幡平市観光協会では、特にマイカーでいらっしゃるただけの様な、東北6県在住の方々が対象に、この機会に八幡平を知ってファンになつてもらいたい！

また、それぞれの特性に応じた新しい生活様式への対応への試み・取組みを進めていただきたい。

そんな願い込めて、1泊2食に対し¥3000の補助を実施いたします。

※八幡平DMOもチームとして動き出しました。

◆2020年度の体制  
 \*2018年度は、畑・柴田の両名の体制で、観光マーケティングへの事前調査・可能性の模索・受入体制整備に多言語対応など

\*2019年度は、鳥海が合流し、個人を対象とした体験コンテンツの実証整備・スノーリゾート形成企画・東北DOCへの準備・域内回遊交通の模索等

\*2020年度は、重点DMOの認定を取得、国の補助事業で必要要件となる地域の

合形成の場にもなる、観光協議会&各部会の事務局業務も、協会さん・商工会さんと連携して進めております。

また今年度より、海外マーケティング部門で2名、旅行業取得などに伴う事務局などで2名が加わり、新体制で頑張っております。

◆素泊まり等のその他補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金

◆補助額¥3000  
 ◆補助額¥20000  
 ◆GOTOとの併用不可  
 ◆注業務・長期滞在を除く  
 ◆利用者へのお問い合わせはSNSやWebなどへの投稿・口コミを依頼

◆1泊2食の宿泊補助額¥3000  
 ◆市の補助支援のみ¥4000以上の商品  
 ◆7県以上の商品¥7000以上の商品  
 ◆※共に税金



西根支所の移転に伴い、レオスさん横の開福ビル2Fへ移転いたしました。